

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金使途状況

No.	事業名	事業概要等	事業費	臨時交付金充当額	効果検証	所管課
1	新型コロナウイルス感染症対策事業	コロナ禍でマスク不足となっていた中、マスクを住民に配布した。 また、外出自粛で買い物も困難な中、米を住民に配布した。 さらに、業務における感染予防対策を行うため、体温計、パルスオキシメーター、消毒用アルコール等を整備した。	28,118,676	28,118,676	マスクが不足するなか、感染予防に必要なマスク（110枚/人）を配布でき、飛沫感染による感染拡大防止を図ることができた。外出自粛で買物が困難ななか、お米を配布することで住民の生活を支援することができた。	住民福祉課
2	庁舎内感染予防対策事業	庁舎内に飛沫防止フィルム、クリアボードを設置し、庁舎内における感染リスクの低減を図った。	128,505	128,505	職員、来客者等の飛沫感染防止対策を講じることができた。	総務課
3	町内施設等感染予防対策事業	不特定多数の方が訪れる施設等（公園や漁港等）に外出自粛を促すための看板等を設置し、感染リスクの低減を図った。	493,966	493,966	町外からの来訪者などに対し、外出自粛について啓発することができた。	産業建設課
4	情報発信事業	主な情報発信手段を回覧から人が直接触れないホームページに移していくため、わかりにくかったホームページをリニューアルし、回覧による接触回数を減らし、感染リスクの低減を図った。	2,981,000	2,981,000	コロナ禍において、回覧回数を3回から2回に減らすことができ、感染リスクを低減することができた。	総務課
5	こどもの見守り事業	休園・休校となったこども園、小学校及び中学校の児童・生徒の希望者に対し、栄養バランスの取れた弁当を教員等が配達し、コロナ禍におけるこどもの健康管理や見守りを行うとともに各家庭の負担を軽減を図った。	356,400	356,400	コロナ禍における休園・休校した児童・生徒に対し、計8日間弁当を配食することができ、各家庭の負担軽減を図ることができた。	教育委員会
6	住民生活支援給付金事業	緊急事態宣言に伴い外出自粛を余儀なくされた全住民に対し、1人当たり5,000円を給付した。	15,015,000	15,015,000	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、現金を給付することで日常生活における経済的・精神的な負担を軽減した。	総務課
7	住民生活支援給付金事業②	緊急事態宣言が解除されても、なお、感染予防のために自主的に外出を控えるなどの負担を余儀なくされた全住民に対し、1人当たり10,000円を給付した。	30,220,000	30,220,000	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、現金を給付することで日常生活における経済的・精神的な負担を軽減した。	総務課
8	学童保育事業	三密を避けるための分散保育することにより感染リスクの低減を図った。	513,981	513,981	学童保育所内における感染症の集団感染を防ぐことができた。	教育委員会
9	新型コロナウイルス感染症対策事業②	消毒用アルコール、マスク、体温計、サーマルカメラ等を整備することで、避難所における感染リスクの低減を図った。	1,823,753	1,817,000	避難所用物品を整備することで、コロナ禍においても警報発令時などの避難所運営が可能となった。	総務課
10	庁舎内感染予防対策事業②	救急業務を兼務している一般事務職員が、救急出動後、すぐに一般事務業務に戻れるよう衣服などを着替える場所、また、洗濯機を設置することにより、感染リスクの低減を図った。	883,300	883,300	環境整備によりコロナ感染を防ぐことができた。	総務課
11	三密を避けるための避難所運営事業	段ボールベッド、段ボールパーテーション等を整備することで、避難所において三密を回避し、感染リスクの低減を図った。	1,680,584	1,680,584	避難所用物品を整備することで、コロナ禍においても警報発令時などの避難所運営が可能となった。	総務課
12	小中学校新型コロナウイルス感染症予防対策事業	消毒用アルコール、非接触型体温計、網戸、スポットクーラー、大型扇風機等を整備することで、小中学校における感染リスクの低減を図った。	1,384,853	1,384,853	各種物品・備品等の整備によりコロナ禍においても感染症対策を実施しながら学習することができた。	教育委員会
13	太地町立くじらの博物館特別会計繰出	博物館内における感染リスクの低減を図るため、換気対策のための空調改修、三密回避のための施設改修及び物品整備（動線規制用ガイドポール等）、感染予防のための消毒用アルコール等の物品整備を行った。また、WEB会議を実施するための環境整備を行った。	19,900,000	19,900,000	不特定多数が訪れる博物館において、お客様が安心して訪れることのできる環境を整備できた。	くじらの博物館
14	太地町立くじらの博物館特別会計繰出	コロナ禍において休館を余儀なくされた地域の観光の中核を担う施設であるくじらの博物館に支援金を繰り出した。	50,000,000	50,000,000	コロナ禍においても鯨類を飼育することができ、本町の観光産業の継続を図ることができた。	くじらの博物館
15	職員テレワーク環境整備事業	庁舎等においてWEB会議を実施するための環境を整備した。	146,449	116,000	テレワークの環境整備ができ、多数のWEB会議に出席することができた。	総務課
16	庁舎内感染予防対策事業③	庁舎及び別館において、分散勤務を行うため、LAN配線環境を整備した。	1,066,340	1,066,340	LAN配線環境を整備することで分散勤務が可能となり、職員に対する感染防止対策を講じることができた。	総務課
17	町内施設等感染予防対策事業②	森浦湾海上遊歩道施設における感染リスクの低減を図るため、感染予防のための物品整備（注意喚起看板、ライフジャケット）、換気対策のための物品整備（扇風機）を行った。	152,710	152,710	物品の購入により来場者に対する感染予防対策を実施することができた。	総務課

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金使途状況

No.	事業名	事業概要等	事業費	臨時交付金充当額	効果検証	所管課
18	健康増進事業	町内の多目的センターに設置している健康増進器具について、コロナ禍により町外施設を利用していた町民が多目的センターを利用することになり、それに伴う三密を避けるため、健康増進器具を別室に2基増設し、感染リスクの低減を図った。	1,565,000	1,565,000	施設内における感染症の集団感染を防ぐことができた。	住民福祉課
19	ウィズコロナ時代のサイクルツーリズム環境整備事業	ウィズコロナに対応した自然に触れる屋外での観光を見据え、町内サイクリングコースにサイクリスト専用ベンチを設置した。	2,803,900	2,803,900	環境整備により三密を回避できる旅行手段として、サイクリングを推進することができた。	産業建設課
20	GIGAスクール構想推進事業	コロナ禍における学習機会を確保するため、タブレット端末の購入や設定など各教室や各家庭においてWEB授業を可能とする環境の整備を図った。	5,738,044	5,738,044	新型コロナウイルス等による臨時休校に際して子どもの学びの機会を保障することができ、また、端末を持ち帰ることで家庭学習をオンラインで実施することが可能となった。	教育委員会
21	学校保健特別対策事業費補助金	消毒用アルコール、体温計、サーマルカメラ、空気清浄機等を整備することで、小中学校における感染リスクの低減を図った。	2,001,820	1,000,000	各種物品・備品等の整備によりコロナ禍においても感染症対策を実施しながら学習することができた。	教育委員会
22	郵便物送付に係る感染予防対策事業	役場から一度に大量に送付する文書については職員が集まり人海戦術で用意していたため、紙折り機やバスター（裁断機）を整備し、職員間の感染リスクの低減を図った。	977,064	977,064	機器導入により少人数での作業が可能となり、職員間の感染リスクの低減を図ることができた。	総務課
23	感染症対策物資等備蓄倉庫整備事業	増加した感染予防物品を備蓄するための倉庫を整備するため、実施設計を行った。	257,400	257,400	感染症対策の物資等を備蓄する倉庫を整備するため、実施設計を行った。	総務課
24	庁舎内感染予防対策事業④	庁舎内に加湿器、消毒液噴霧器等を、庁舎入口にサーマルカメラを設置し、庁舎内での感染リスクの低減を図った。	951,660	951,660	職員、来客者等の感染防止対策を講じることができた。	総務課
25	太地町立くじらの博物館特別会計繰出	コロナ禍において休館を余儀なくされた当町の観光の中核を担う施設であるくじらの博物館に支援金を繰り出した。	15,000,000	14,495,117	コロナ禍においても鯨類を飼育することができ、本町の観光産業の継続を図ることができた。	くじらの博物館
26	町内施設等感染予防対策事業③	太地こども園玄関にサーマルカメラを設置し、こども園での感染リスクの低減を図った。	214,500	214,500	施設内における感染症の集団感染を防ぐことができた。	教育委員会
27	小中学校新型コロナウイルス感染症予防対策事業②	全校集会などを各教室からリモート参加できるようモニター等を整備することで、大勢が集まる機会を減らし、感染リスクの低減を図った。	855,000	855,000	環境整備により大勢が集まる機会を減らすことで感染リスクの低減を図ることができた。	教育委員会
合 計			185,229,905	183,686,000		